

備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

発行：平成27(2015)年6月1日

【お問い合わせ先】
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513
URL: http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

春号

spring
VOL.35

【日々の暮らしを支える道路整備】歩行者・自転車の安全対策の推進

マップ① 洲本灘賀集線(洲本市小路谷)歩道整備事業完成!

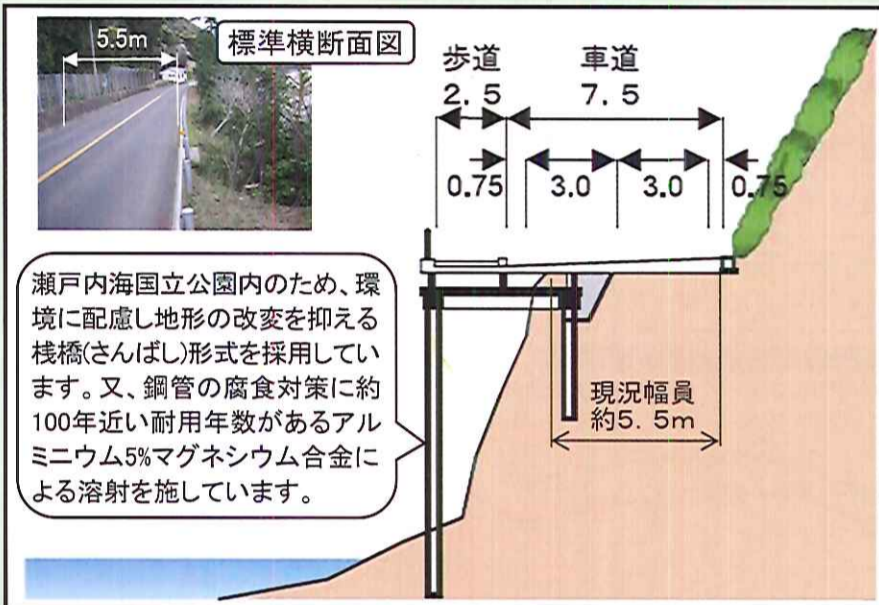
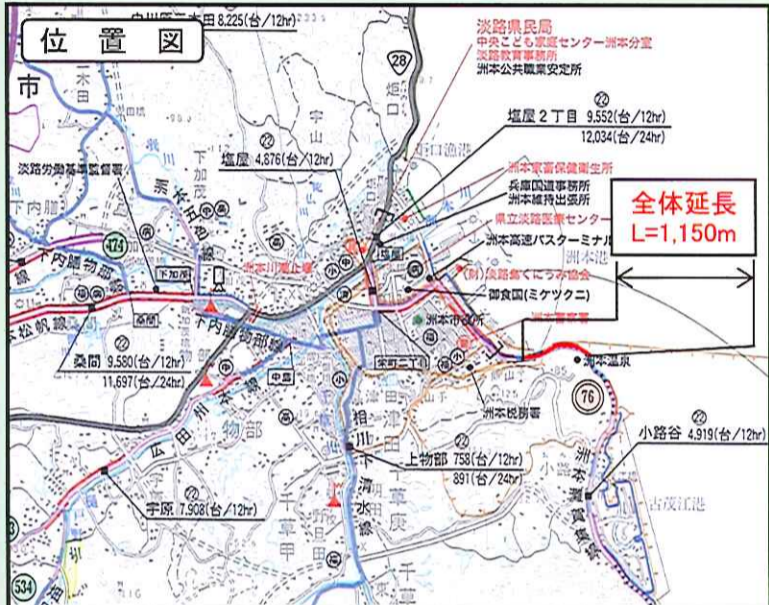
洲本灘賀集線は、由良地区から洲本市街地を結ぶ主要幹線道路であり、由良地区からの洲本市街地の高校への通学経路となっています。また、沿道には洲本温泉街のホテルやサントピアマリーナ、灘や立川の水仙郷などの観光施設が立地しており、大型観光バスの通行が多い路線となっています。しかしながら、洲本市小路谷地区については、線形不良や幅員狭小のため、大型観光バスが反対車線にはみ出して通行するなど、自転車や歩行者の安全な通行に支障をきたす状況となっていました。そこで、平成20年度から歩道の整備と車道拡幅に着手し、平成27年3月をもってすべての工事が完成しました。この区間の完成により、円滑な交通の確保はもとより、淡路島の観光振興等にも大きく寄与するものと期待されます。

例年6月上旬は梅雨入りの時期です。梅雨期は大雨による災害が発生しやすいので、注意報、警報等が出た時は、川や崖など危険な場所には絶対に近付かないでね!

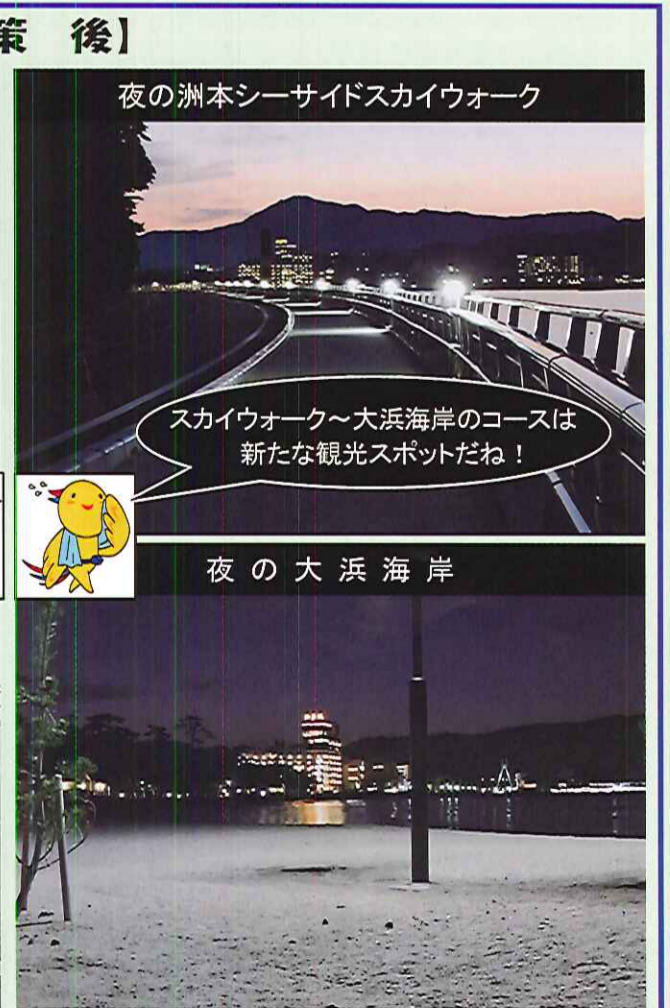


兵庫県マスコット
はぼたん

季刊紙『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



平成27年3月21日に「花みどりフェア」開幕時にウォーキングイベントとあわせて「主要地方道 洲本灘賀集線 小路谷歩道整備完成式典」を開催しました。



ありがとう！淡路島公園 淡路島公園開園30周年記念事業を紹介します。

県立淡路島公園は、明石海峡周辺の美しい景観及び自然環境を保全することを目的として昭和60年(1985年)に都市公園(広域)として開園以来、順次整備を行い今年で開園30周年を迎えることになりました。淡路島公園は、(*1)平成26年度から過去10年間の利用者数で示すように、平成25年(2013年)の淡路島地震による減少を除けば右肩上がりに多くの方が訪れている事が解ります。このように淡路島公園を訪れている多くの方に日頃の感謝の気持ちを込めて、又、初めての方には訪れるきっかけとなるよう、花みどりフェアの期間～秋の淡路島公園を楽もう祭りの期間(3. 21(土)～10. 4(日))までリレーイベントを開催し、淡路島公園の魅力を伝えます。

淡路島公園の概要

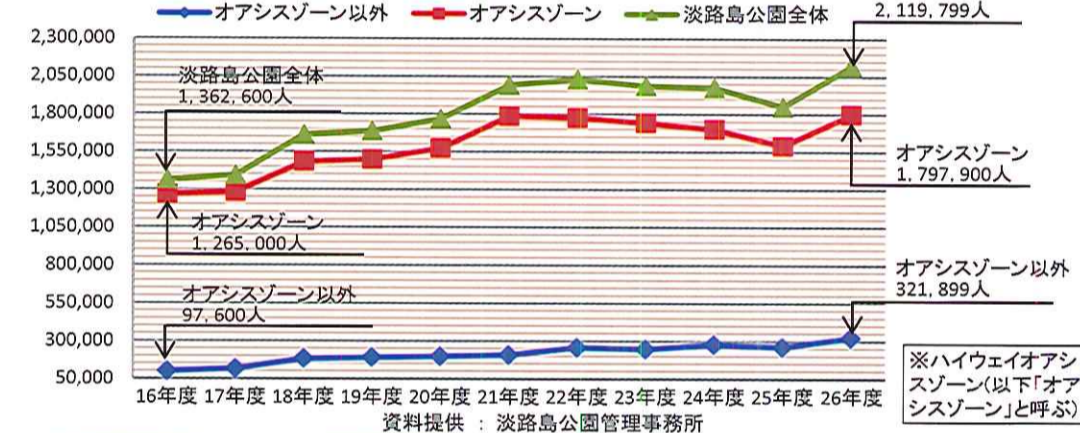
開園面積: 134.8ha(オアシスゾーン、森のゾーン、交流ゾーン、草原と花のゾーン)からなり、青い海の大パノラマ、淡路島北部丘陵地帯の豊かな自然に包まれ、ゆっくりと時間を過ごしたい公園です。森林浴にこそ安らぐエリアや、子どもたちが大喜びのスリル満点の遊びのエリアなど、家族でとっておきの時間が過ごせます。

国道28号・県道157号線からのアクセスのほか、高速道路の淡路サービスエリアから直接アクセスできます。公園をひととおり歩くと約8km。1～2kmの散策ルートもあって、気軽に利用できるスケールの大きな公園です。無料駐車スペースもたくさんあります。

6月～10月までの主なイベント ※詳細につきましては下記問い合わせ先に確認願います。

6月 アジサイまつり アジサイ体験教室	日時: 6/13(土)～7/5(日) 日時: 7/5(日)10:00～11:00	会場: 花の谷～アジサイの谷 会場: 林間広場
7月 ハーブ体験教室 星の観察会	日時: 7/12(日)10:00～12:00 日時: 7/25(土)19:00～21:00	会場: ミニハーブ園 会場: 大きな芝生広場
8月 夏休み親子クラフト教室	日時: 8/23(日)11:00～16:00	会場: 木の遊び場特設会場
9月 探鳥会	日時: 9/13(日) 9:00～12:00	会場: 淡路島内
10月 秋の淡路島公園を楽もう祭り 秋のオアシス祭り	日時: 10/4(日)10:00～15:30 日時: 10/4(日)10:00～15:30	会場: 大きな芝生広場 会場: ハイウェイオアシス

(*1) 過去10年間の淡路島公園利用者数



○イベントの問い合わせ・お申し込み先
県立淡路島公園管理事務所 TEL: 0799-72-5377 FAX: 0799-72-5378
○イベントの詳細については、随時淡路島公園のホームページで公開しています。
URL: <http://www.hyogo-park.or.jp/awajishima> [淡路島公園](#) [検索](#)



公園マップ \見所がいっぱい/

お知らせ！ 明石海峡大橋を見渡す高台に、県立「あわじ石の寝屋緑地」が平成27年4月1日に開園しました。

あわじ石の寝屋緑地は、明石海峡を望む淡路島の北の端にあり、明石海峡大橋周辺の自然豊かな緑を守るため平成14年度に都市計画決定後、平成18年度から都市公園(都市緑地)として整備を進め、今年4月1日に開園を迎えました。

あわじ石の寝屋緑地の概要

- ◇開園面積: 37.5ha
- ◇施設: 園路3km、芝生広場4,500㎡(森の広場)、駐車場、トイレ、四阿・展望台3基(海峡展望台、見上げる展望台、空中展望台)
- ◇あわじ石の寝屋緑地の特徴
自然と歴史と文化のおもしろさをみんなで見つけるフィールドです。また、起伏にとんだハイキングコースとして自然を満喫できる都市緑地です。

自然と歴史と文化のおもしろさを見つけに来てね!

アクセス

利用交通機関
●自家用車の場合
神戸淡路鳴門自動車道【淡路IC】出口から約5分(無料駐車場有)
●高速バスの場合
JR・神姫バス【淡路IC】到着後徒歩約30分
●船の場合
淡路ジェノバライン【岩屋】到着後徒歩約40分



問い合わせ先
県立あわじ石の寝屋緑地管理事務所 TEL: 0799-72-5401 FAX: 0799-72-5402
URL: <http://www.hyogo-park.or.jp/ishinoneya/>



備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513
URL: <http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html>
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行:平成27(2015)年11月5日

2015

VOL.36

■総合治水推進計画～三原川水系の取り組みを紹介します。

三原川流域は、河口付近で支川が複数合流する放射状流域であり、下流の支川合流エリアでは地盤標高が1mに満たない低地を抱えるなど、洪水と内水氾濫の危険性が高い地域であります。また、三原川水系では、昭和54年の台風16号洪水を踏まえ、激甚災害対策特別緊急事業により河川改修に着手するとともに、上流域に5ダムを整備しました。三原川と大日川では昭和54年洪水に対応した改修が河口の約3kmで概成しましたが、平成16年の台風23号では流下能力の低い河道からの越水や破堤、内水排除の能力不足から床上浸水275戸、床下浸水652戸の甚大な被害に見舞われました。このため、三原川水系下流部の主要河川（三原川、大日川、倭文川）の河川整備を計画的に推進して、三原川水系の治水安全度の向上を図ります。

この夏は、猛暑と早い時期の台風の上陸、平成16年台風23号の記憶がよみがえる台風18号の異常豪雨による鬼怒川の決壊を始めとする異常気象による豪雨等、今までの常識では考えられない災害が起きています。このような災害の発生から身を守るには、自分だけは大丈夫と意識をすて、危険だと感じたらすぐに逃げる。自分の身は自分で守る気持ちが必要かと思えます。

兵庫県マスコット
はぼたん



季刊紙『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。

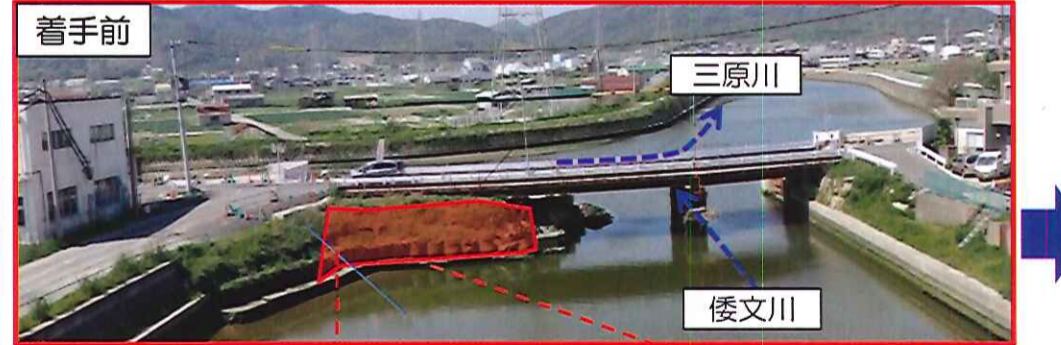
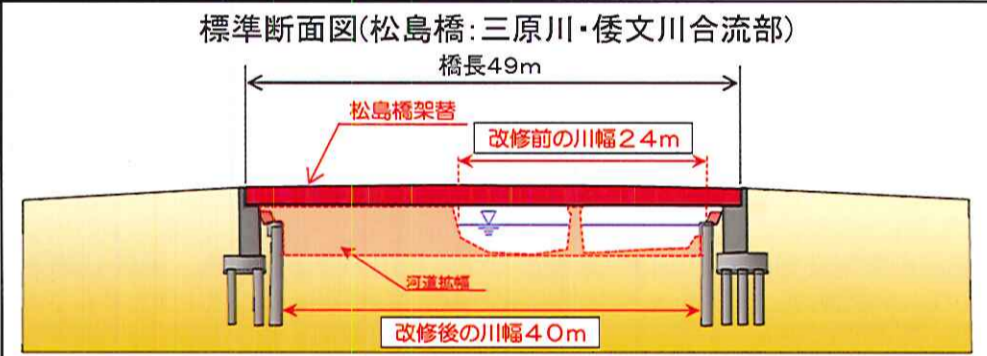
島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。

AWAJI ISLAND MAP



マップ① H27年度実施中の松島橋（三原川と倭文川合流部に架かる橋）の架替工事を紹介します。

松島橋（南あわじ市松帆江尻）は、三原川水系倭文川の最下流部に架かっている橋梁ですが、倭文川の流下能力向上を図る河川改修に伴い、現在、架け替え工事を進めています。松島橋架け替え工事はH28年度の完成を予定しており、完成すれば倭文川の川幅が現在の24mから40mに大きく広がるなど、洪水に対する安全性が高まることとなります。



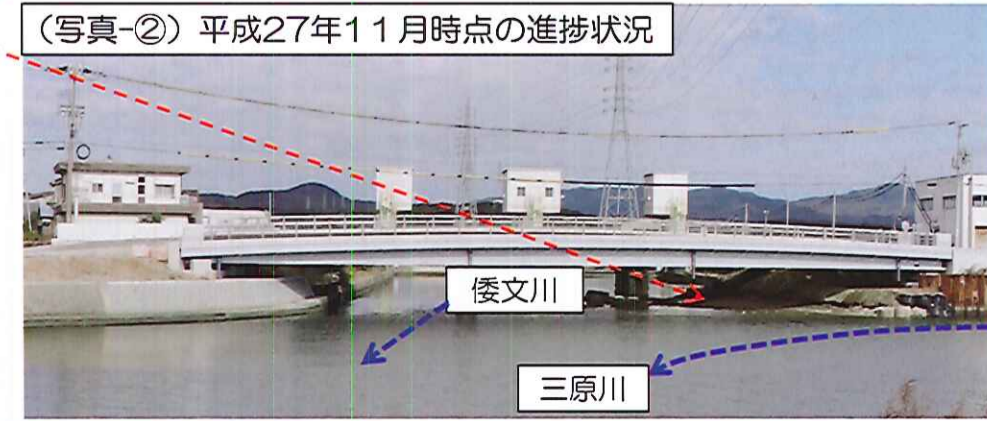
着手前
橋の架替の進捗により、倭文川の三原川への流下能力が向上している。



(写真-①) 平成27年11月時点の進捗状況



(写真-③) 平成27年11月時点の進捗状況



(写真-②) 平成27年11月時点の進捗状況

■災害危険情報の提供 「CGハザードマップ」スマートフォン専用サイトを活用しよう!

災害はいつどこで起こるか分からない! 出張や観光など県下の出先で災害に遭遇したとき、自分のいる場所が安全なのか危険なのか、避難場所はどこなのか等、知りたい情報を得たいときに活躍するのがこの「スマートフォン専用」ハザードマップです。スマートフォンのGPS機能により、自分が今いる場所の土砂災害・洪水・津波等のCGハザードマップ(災害被害の想定範囲や避難場所、避難経路などを示した地図)を見ることが出来ます。また、「観測情報」から随時、河川の水位や潮位、警報や注意報などの情報も検索出来ます。

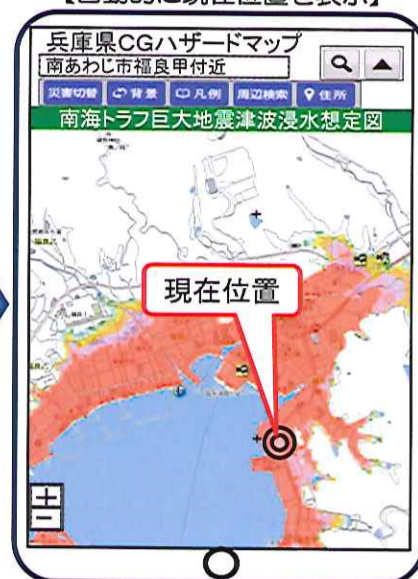
主な操作方法

- ① スマートフォンで「CGハザードマップ」を検索
- ② 右図のスマートフォントップ画面が表示されます。
- ③ 5つの自然災害(洪水、土砂災害、高潮、津波、ため池)の中から知りたい災害を選択します。
- ④ 現在地周辺のハザードマップを見ることが出来ます。

【スマートフォントップ画面】



【自動的に現在位置を表示】



トピックス 「ふれあいの祭典 淡路ふれあいフェスティバル」で～兵庫県CGハザードマップをPR～

平成27年11月14日(土)、15日(日)に「淡路ワールドパークONOKORO」周辺で開催された「淡路ふれあいフェスティバル」にて、県政PRコーナーの一角に「自分は大丈夫って思っていますか?～兵庫県CGハザードマップ～」のブースでパソコン・タブレットで実際に操作していただき、CGハザードマップをごらんいただけるコーナーを設けました。

CGハザードマップ等の問い合わせ先：県技術企画課
TEL:078-362-9248 FAX:078-362-4433

■交流の翼港の利活用の推進 ～淡路交流の翼港を活用したクルーズ事業の展開～

淡路交流の翼港の利活用の推進を図るため、翼港を利用する淡路島周遊ツアーやサンセットクルーズの海洋観光を推進しています。

① 淡路島周遊ツアーの紹介

あのですきとおった風を感じて、夏でも底に冷たさを持つ青い空、きらきら輝くチケット片手に、淡路島を一周する日帰り船旅。

明石港→交流翼港→津名港→洲本港→福良港→明石港
《津名港・洲本港・福良港の3港に約2時間滞在》

津名港：①パルシェ香りの館→いざなぎ神宮
②レンタルサイクリングで津名散策③自由行動

洲本港：①城下町レトロこみち散策②洲本大浜海岸で海水浴
③洲本温泉でミニ懐石と温泉や足湯④自由行動

福良港：①人形浄瑠璃見学②うずしおクルーズ③うずの湯で足湯
④福良マルシェで買い物⑤たまねぎ堀り体験⑥自由行動

企画：一般財団法人 淡路島観光協会

② サンセットクルーズの紹介

海上から明石海峡大橋や瀬戸内海の西に沈む夕陽など美しい景色を堪能。

ウェスティンホテル→交流の翼港→明石海峡大橋や瀬戸内に沈む夕陽(サンセット)を楽しむ→交流の翼港→ウェスティンホテル

企画：(株)夢舞台淡路夢ツアーズ



7月～9月末までに運行した①淡路島周遊ツアー ②サンセットクルーズの利用客数は、①②共、運航日はほぼ満席状態で、予約を断る日もあったとの報告を受けています。これは海に囲まれた淡路島での海洋観光の需要が高く、様々な企画を立案し実施すれば十分な集客が見込めることが立証されたと思います。よって、来年度も引き続き「交流の翼港」を始めとする淡路島の港を利用した「海洋観光の推進」に取り組んでいきたいと思ひます。

「第5回洲本川レガッタ2015」が9月13日に開催されました。

洲本川レガッタは、平成16年台風23号災害による洲本川流域の河川改修工事が完了した平成23年度より始まり、今年で5回目を迎えました。洲本川レガッタは、ボート競技の面白さを広めるとともに、台風23号災害を風化させない取組として行われています。林 洲本土木所長は、大会の3日前に台風18号の異常豪雨による茨城県常総市での鬼怒川の決壊にふれ、平成16年台風23号災害で体験したことを風化させないようにと挨拶されました。レガッタ競技は、ダブル・シングルスカルやナックルフォア、クォドルプルなど17レースに48チームが参加し、笑顔が競技場周辺にあふれていました。



「津波防災フォーラム2015」及び「福良久ずまるフェスタ」が9月27日に開催されました。

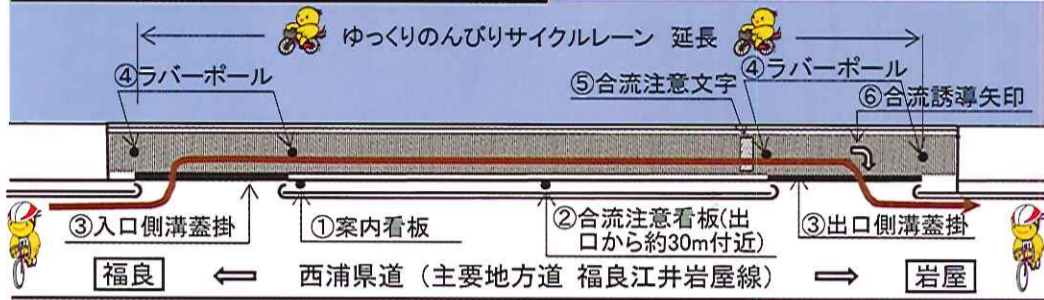
2010年に「福良津波防災ステーション=愛称うずまる」が完成し、毎年、兵庫県下で南海地震の津波高一番大きい福良地区で開催されています。津波防災フォーラムでは、①防災講演「誰もが安心できる地域の避難所をめざして」を聴講後、避難所運営ゲームを通じて地域の最善の避難ルートの設定、避難所運営を考える中でいろいろな問題点があることを解もらい、これから起こりうるであろう津波対策に活かしてもらおう。②洲本土木より福良湾口防波堤整備計画の説明等を行いました。福良久ずまるフェスタでは、①福良路地裏探訪②救命講習③防災O×クイズ等が行われました。



西浦県道「ゆっくりのんびりサイクルレーン」の設置を紹介します。

平成22(2010)年度に開催された「淡路島ロングライド150」が好評で、毎年恒例イベントとして定着したこともあり、淡路島を一周(通称「アワイチ」)するサイクリストが急増しています。そのサイクリストの大半は、「淡路島ロングライド150」のコース(明石海峡公園周辺をスタートして時計回りに淡路島を一周)を走っていますが、コース終盤となる西浦県道(主要地方道 福良江井岩屋線=通称「淡路サンセットライン」)では、体力的にも疲れ果て、さらには大型車等にも注意を払いながら海岸線を眺める余裕もなくなります。そこで、サイクリストが通行車両を気にすることなく、一息つきながら安心して走行できるよう、西浦県道に併設する既存護岸の管理用通路を活用した「ゆっくりのんびりサイクルレーン」を下記のとおり、4箇所整備しました。「ゆっくりのんびりサイクルレーン」をご利用いただき、淡路サンセットラインを眺めながらゆっくりと走って下さい。

「ゆっくりのんびりサイクルレーン」概略図



① 野島江崎 L=120m
② 野島墓浦 L=250m
③ 淡路市深草 L=140m
④ 五色町都志 L=460m

県民や事業者の皆様には、節電の取り組みを持続いただき、無理のない範囲での節電へのご協力をお願いします。

兵庫県マスコット はぼたん

『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。
島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土産物も交えてお伝えしています。

ゆっくりのんびりサイクルレーン設置状況



ゆっくりのんびりサイクルレーン利用状況



西浦県道は、「淡路サンセットライン」とよばれ、夕方にこの道を走ると瀬戸内海に沈む夕日を見ることができるよ! 春から夏にかけて、天気の良いときは、夕日の光があたかも黄金色に輝く一本の道かのように海面に映り、とてもきれいだよ!



■H27淡路ふれあいフェスティバルの開催報告 <CGハザードマップ、総合治水のPRブースを紹介します>

ふれあいの祭典 淡路ふれあいフェスティバルは、「文化・環境・福祉・地域づくり」など幅広い分野で、誰もが気軽に参加できるイベントで、平成元年度に神戸の地から始まり、平成14年度からは毎年地域持ち回りで開催され、平成20年には「明石海峡大橋開通10周年を向かえた」淡路島で、地域主体の手づくり感あふれる内容に生まれ変わり、淡路市立しづかホール及びその周辺で「ふれあい・にぎわい 花と緑の淡路島」をテーマに11月9日に開催しました。

平成27年度は、あわじ環境未来島構想をすすめる淡路地域で、食のブランド「淡路島」オータムメッセと一体的に開催し、淡路をはじめとする“ひょうご”の魅力を発信しました。

開催概要
名称
 ふれあいの祭典淡路ふれあいフェスティバル～みんなで創ろう、いのちつながる恵みの島～
日時
 平成27年11月14日(土曜日)、15日(日曜日) 10時～16時
会場
 淡路ワールドパークONOKORO及び動物愛護センター淡路支所芝生広場
来場者数
 2日間合わせて約4万人

■県政PRコーナー (CGハザードマップ)



来場者にPC、タブレットでPC、スマートフォン専用CGハザードマップを実際に操作を行ってもらい、CGハザードマップの認知度を高める。
 CGハザードマップの問合せ先: 技術企画課078-362-9248

■兵庫県高等学校工業教育フェア (総合治水)



県が連携事業をしている6校の内の1校県立東播工業高校が製作、タイトル「まちを水害から守るわたしたちの校庭」、校庭ダム、駐車場貯留、貯留タンク等を設置し、雨水が一時に流れない様子が解る。
 総合治水の問合せ先: 総合治水課調整班 TEL:078-362-9265

■淡路・徳島交流連携事業 淡路・徳島交流少年野球大会及び野球教室を紹介します。

兵庫県淡路県民局と徳島県は平成20(2008)年に「淡路・徳島交流連携推進協議会」を立ち上げ、観光、文化、産業、生活など様々な分野で交流・連携を図ってきました。その連携事業の一環として、少年野球を通じて淡路島と徳島県の子供たちの友情を育み、交流を促進するとともに、一流の選手との触れあいによってスポーツに勤しむ子供達の夢を育てることを目的に、淡路県民局と徳島県の主催による「淡路・徳島交流少年野球大会(2008年～第8回)」、及び河平会(代表 河野佳史)主催による「阪神タイガース現役選手による少年野球教室(2003～第13回)」を開催しました。主に平成15(2003)年に供用開始した「県立淡路佐野運動公園」で開催しています。

大会概要: 淡路島と徳島県の軟式少年(小学生)野球交流戦(各4チーム×2試合=8試合) 会場: 県立淡路佐野運動公園 第1、第2野球場

野球教室概要: 淡路島: 11チーム(野球大会参加の4チーム、応募6チーム、招待1チーム) 徳島県: 4チーム(野球大会参加チーム) 会場: 県立淡路佐野運動公園 第1野球場

今年、平成28(2016)年度も12月10(土)、11日(日)に野球大会、野球教室を開催予定、淡路島の少年野球チームのみんな是非参加してね。(10月末に募集予定)



■1. 17を忘れない! 「阪神・淡路大震災21年追悼事業」が淡路市で実施されました。

今年も1月17日に、「北淡震災記念公園」で追悼行事・防災啓発及び訓練が実施され、震災22年目へ新たな誓い(ひょうご安全の日宣言・右文)を淡路県民局長が読上げました。



島内の犠牲者と同じ63本の竹灯籠を流し供養

「ひょうご安全の日宣言」

6400名を超える尊い命を奪い、未曾有の被害をもたらした 阪神・淡路大震災から21年が経った 私たちは国内だけでなく世界の多くの人たちにも この経験や教訓を知ってもらいたい 活かしてもらいたい そのように願って 伝え続けてきた 11年前に国連防災世界会議が開催された 震災の教訓を発展させた 兵庫行動枠組は さらに 昨年の仙台防災枠組にも生かされた 創造的復興は ひきつづき世界の防災の目標となった

でもこの間 地球の温暖化も進行し ハリケーンや台風の大型化と 集中豪雨災害の多発という形で顕在化してきた 災害は新たなステージに入ったのだ

だから 私たちもこころを新たに 阪神・淡路大震災の経験や教訓を もっと伝えなければならない 南海トラフ巨大地震や首都直下地震の発生も心配だ だから もっと対策を進めなければならない

次なる災害に備えるには 日常防災が役に立つ それにつながる防災教育も一層進めたい それらが災害文化となって 安全 安心社会を実現する

1.17は忘れない 伝える 備える 活かす 阪神・淡路大震災の教訓を 震災の教訓は すべての災害に通じる知恵だから

2016年1月17日 ひょうご安全の日推進県民会議 会長 兵庫県知事 井戸 敏三

備える・支える・つなぐ 淡路さわやか県土

【お問い合わせ先】
淡路県民局洲本土木事務所 企画調整担当へ
〒656-0021
洲本市塩屋2丁目4-5
TEL: 0799-26-2055 FAX: 0799-24-4513
URL: http://web.pref.hyogo.lg.jp/sumotodoboku/index.html
e-mail: sumotodoboku@pref.hyogo.lg.jp

発行:平成28(2016)年3月25日

2016
VOL.38

津波防災インフラ整備計画 ~巨大津波に備えた 防災・減災対策~

2011年3月11日に発生した東日本大震災は今年で5年を向かえます。この地震により、津波発生規模の見直し・原発事故の怖さ、再生可能エネルギーの急速な開発等、安全について考える大きな財産を残してくれました。2011年3月11日に起きたことを風化させないようにしましょう。



『淡路さわやか県土』は、淡路県民局洲本土木事務所の取り組みを広く一般に知ってもらおうと、編集・発行しています。島内の土木事業やまちづくりを中心に、淡路島の風土資産も交えてお伝えしています。



マップ①

重点整備地区阿万港(南あわじ市)の津波対策の進捗状況を紹介しします。

平成28年2月末完了→①既設防潮堤の越流対策約420m、②防潮堤の整備・越流対策約350m *下記添付の「対策概要位置図」を参照！



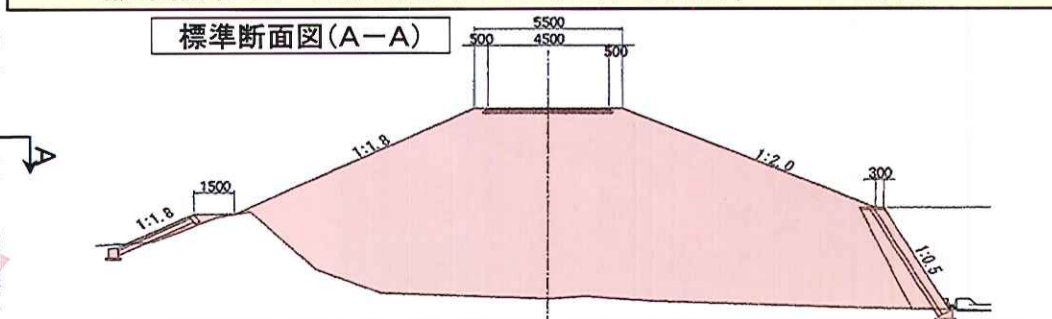
問い合わせ先:淡路県民局 洲本土木事務所 港湾第2課 TEL:0799-26-3241 FAX:0799-24-4533

マップ②県道仁井黒谷線(黒谷地区)の通行止規制が平成28年2月3日に解除となりました。



平成27年7月16日～18日にかけて日本列島に接近、上陸した台風11号により、洲本観測所では総雨量328mm、仁井観測所(今回紹介する現場付近)では総雨量381mm(時間最大42mm)を観測しました。
その大雨により、淡路市黒谷の県道仁井黒谷線では高さ約10m、延長38mの築堤が完全に流されました。
現地はまるで大きな谷が現れた印象で、黒谷地区の生活道路が寸断され、五斗長地区や北淡ICへは市道を迂回しなければ行けなくなりました。

- 災害復旧工事の概要
 - ①主要工事概要:盛土工:3,980m³、ブロック積工:172m²、小口止工:2基他
- 苦労した点
 - ①県道仁井黒谷線は狭隘な道路であるため、土の運搬に時間が掛りました。(10tダンプで近づけないため、4tダンプで小運搬しました)
 - ②約4,000m³という大量の土仕事であり、施工中の2次災害が起きないように天候や施工管理に注意しました。
 - ③道路と隣接していた、農地や用水路も被災(淡路市の震災)したため、工法や施工範囲、施工時期等について、地元、淡路市との調整が必要でした。
 - ④水が集まる沢(集水面積約20ha)に築堤するため、横断管渠の決定に悩みました。〔排水指針に基づき、降雨確率5年に相当する管渠(φ800mm)で計画〕



問い合わせ先:淡路県民局 洲本土木事務所 道路第1課 TEL:0799-26-3235 FAX:0799-24-4533

地域の元気づくり 淡路島来訪者の増加を目指します。 その一環として「淡路島の公共交通」の取組を紹介します。



■高速バスのIC化の促進 (ICカード導入によるバス利用者の利便性の向上を図ります。)

鉄道のない淡路島において、バス交通は、地域住民の日常の移動手段としてはもちろん、国内外から訪れる観光客やビジネス客等の貴重な交通手段であり、欠くことのできない重要な役割を担っています。

しかしながら、他地域では公共交通利用者の利便性向上のため、異なる事業者間でも利用可能なICカード化が進み、国においても現在ICカード導入拡大に向けた取組みが進められている中、淡路地域を運行するバス車両には、全く導入されていないのが現状です。

一方、国が推し進める地方創生を推進し、淡路島の人口増や地域の活性化を図っていくためには、公共交通環境の改善、ひいては、島民及び来島者の移動手段であるバス交通のICカード導入による一層の利便性向上が求められています。

ICカード化の推進は、従来からの地元悲願でもあります高速バス回数券等共通化に代わるものとして、また、①乗り継ぎシームレス化、②定時運行、③将来的な各種割引制度導入の可能性拡大など地域住民の利便性向上に加え、交流人口や定住人口の増加にも資するものです。

よって県と3市は高速バス等のICカード導入に向け、バス事業者の設備負担の軽減を図るため国庫補助制度に淡路地域独自のIC導入促進補助を上乗せして、バス事業者のICカード導入の早期(平成31年まで)実現を目指しています。今後のバスICカードの導入状況を随時この「淡路さわやか県土」で報告していきます。

- 例(前のり・後払い路線)**
- 《STEP 1》
乗車時の入り口付近にあるカードリーダーに交通系ICカードをタッチし、乗車地を記録させます。(始発停留所でも必要です)
- 《STEP 2》
降車時に運賃箱横のカードリーダーに交通系ICカードをタッチすることで、自動的に運賃を差し引きます。



問い合わせ先: 兵庫県淡路県民局 洲本土木事務所 TEL:0799-26-3221 FAX:0799-24-4513

淡路島総合公共交通情報
あわじ足ナビ

お知らせ! 淡路島総合公共交通情報誌「あわじ足ナビ」について

淡路島の公共交通(高速バス、路線バス、3市コミュニティバス、旅客船)の時刻表等を一冊にまとめた淡路島総合交通情報誌「あわじ足ナビ」を(平成28年4月現在)の情報に改訂しますので、お知らせします。平成26年8月に発行以来、この度で3回目の発行となります。

①冊子名: 淡路島総合公共交通情報誌「あわじ足ナビ」(平成28年4月1日) 様式: 本冊→A4判サイズ44ページ、路線・観光マップ図→A2
 ②配布場所: 淡路県民局、洲本市役所、南あわじ市役所、淡路市役所の案内窓口、(一社)淡路島観光協会の各案内所・淡路交通(株)、本四海峡バス(株)の乗車券販売所・神姫バス(株)三ノ宮ターミナル、姫路ターミナル・ミト神戸三宮バスターミナル、高速舞子バス停・淡路市明石港観光案内所他

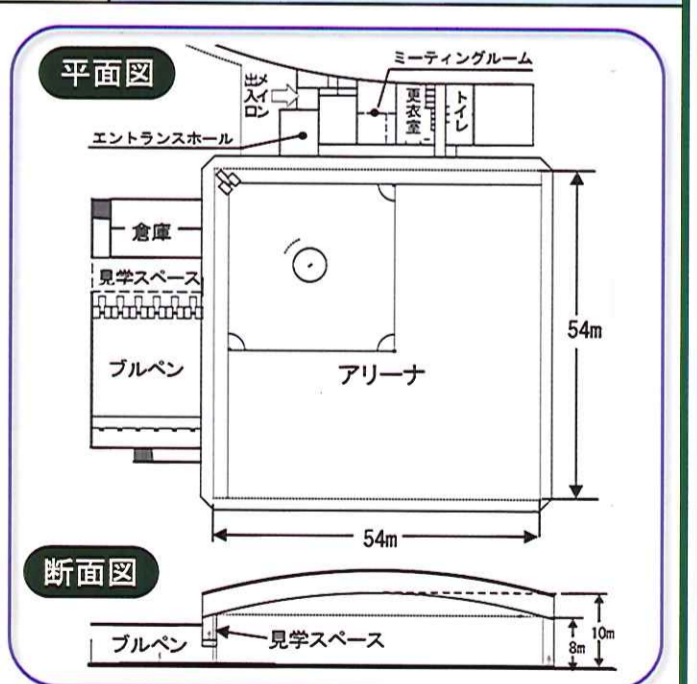
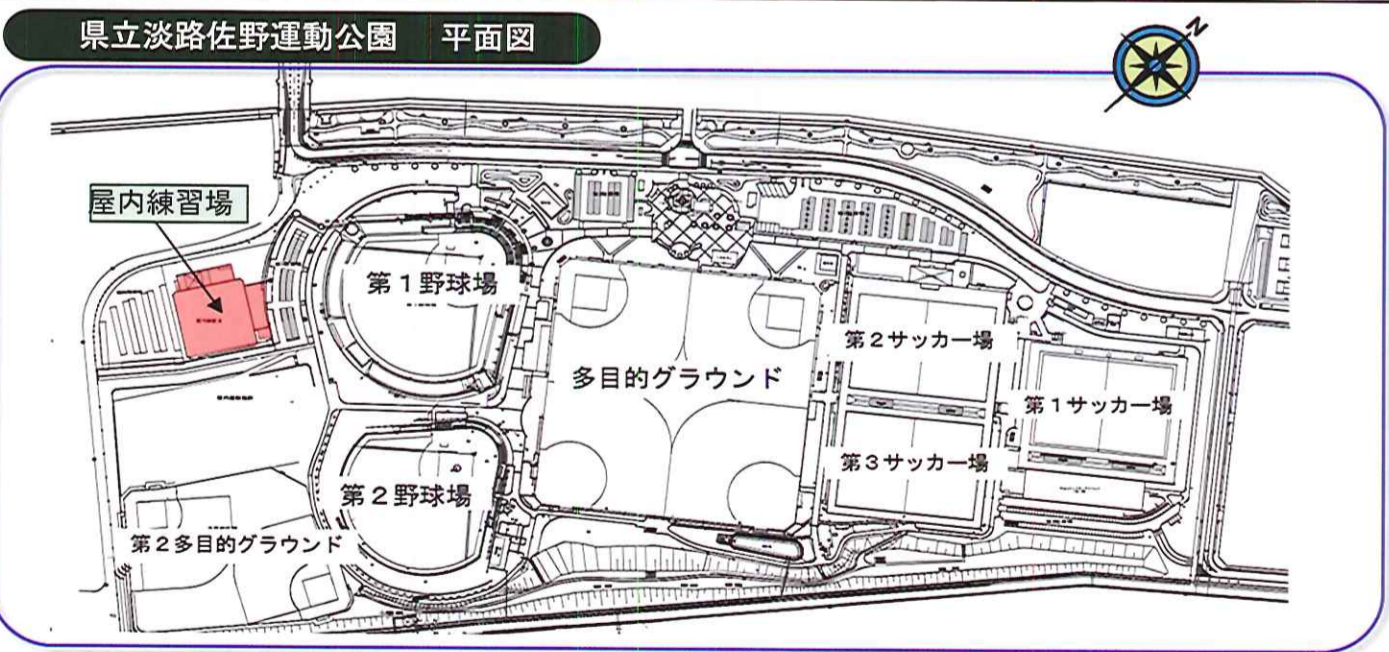
問い合わせ先: 兵庫県淡路県民局 洲本土木事務所 企画調整担当 TEL:0799-26-2055 FAX:0799-24-4513

マップ ③ トピックス 県立淡路佐野運動公園に《2018(平成30)年》完成を目指し屋内練習場を整備することが決まりました。

事業目的
本県のスポーツ振興及び健康増進の拠点である県立淡路佐野運動公園において、各種合宿の誘致を念頭に、気象条件に左右されない全天候型の屋内練習場を整備することで、本公園を核とした地域間交流及び地域活性化を図ります。併せて、防災計画上の広域避難地に位置付けられている本公園において、避難者の収容や救援物資の仕分け地としての機能を確保することで、地域の防災力の向上を目指します。

※2002年のサッカーワールドカップ(W杯)日韓大会でスター選手を擁したイングランドチームがキャンプを行い、フィーバーを巻き起こした同地。2020年開催の東京五輪・パラリンピックに向け、各国チームの合宿地として活用しもらうため、組織委員会に、サッカーの合宿誘致先候補として登録を行っている。

事業内容
 【建築面積】 約4,400㎡
 【施設内容】
 ○アリーナ (54m×54m、高さ8m~10m)
 【施設利用形態】 野球・サッカー練習 他
 ○ブルベン
 ○ミーティングルーム他



問い合わせ先: 淡路県民局 洲本土木事務所 港湾第1課 TEL:0799-26-3237 FAX:0799-24-4533